

第22回新生ふくしま復興推進本部会議（6月9日）

I 被災者等への支援の充実

現状・課題

I 避難の長期化等に伴う諸課題への対応が必要

- ・ 避難の長期化に伴う孤立化の防止・健康維持対策のみならず、仮設住宅等から新しい生活の場への移行による分散化への対応等、新たな課題も見込まれる。

II 市町村等のニーズ

● 市町村長と知事との意見交換（各方部）

- ・ 相双を始め県内各方部から医師確保対策や健康対策の充実を求める声
- ・ インフラの整備の促進

提案・要望の内容（主なもの）

- 避難の長期化等を踏まえた、きめ細かな支援体制の確保に必要な各種施策の充実等



- 保健医療福祉人材の不足に対応した各種施策の充実等

- 復興を加速させるためのインフラ整備や除染等生活周辺環境の整備の加速等



II 産業復興の加速化

現状・課題

I 拠点整備を核とした産業集積の飛躍的加速が必要

【産業集積に向けた拠点整備等の状況】

- ・ 浮体式洋上風力発電実証研究………H23～H27
- ・ 産総研福島再エネ研究所………H26開所
- ・ 医療機器開発・安全性評価センター……H28開所予定
- ・ 先端医療機器開発への支援………H23～

II 地元で再開しようとする事業者等への支援が必要

【避難指示の解除に向けたニーズ】

- ・ 帰還に向けた働く場の確保
- ・ あらゆる産業の復興・再生

III 市町村等のニーズ

● 市町村長と知事との意見交換（各方部）

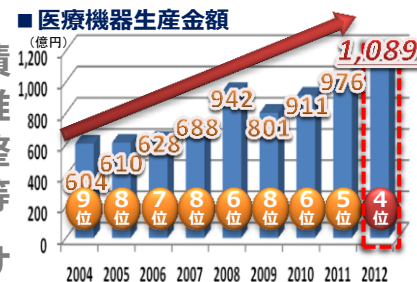
- ・ 再生可能エネルギーの導入促進
- ・ 立地企業に対する補助制度の継続
- ・ 避難した企業の帰還促進、事業再開に向けた支援
- ・ 農業や観光に対する風評対策

提案・要望の内容（主なもの）

- 避難解除等区域における再生可能エネルギーの飛躍的導入や、福島再エネ研究所を核とした先端技術開発などに向けた、各種施策の充実等



- 医療関連産業のさらなる集積に向け、拠点整備の着実な推進、企業の技術開発や施設整備に必要な支援施策の充実等



- 原子力災害の影響を受け続けている地域経済の一日も早い回復と将来にわたっての発展に向け、あらゆる産業や雇用に対する各種支援施策の充実等

Ⅲ 避難地域の復興・再生

現状・課題

I イノベーション・コースト構想の趣旨

- 浜通りにおいて、失われた産業基盤の再構築、新たなまちづくりを進めるため、本年1月に研究会を設置。これまで7回にわたる会合を経て、6月23日に報告書を取りまとめ。
- 6月24日には、政府の「経済財政運営と改革の基本方針2014」（骨太の方針）に盛り込まれ、政府の重要施策として位置づけられた。
- 今後、構想の具体化及び実効性の担保に向け、予算措置、税制、規制緩和が積極的に講じられる必要

骨太の方針2014（抜粋）

原子力災害からの復興・再生については、（中略）住民の帰還意向や地域経済の将来ビジョン¹⁵、復興の絵姿を踏まえた地域づくりの検討を推進する。

脚注15 「『福島・国際研究産業都市（イノベーション・コースト）構想』（平成26年6月23日、福島・国際研究産業都市（イノベーション・コースト）構想研究会）」

II 避難地域の復興への支援が必要

- 福島再生加速化交付金の改善

III 市町村等のニーズ

- 双葉地方町村会政府要望（5/14、6/26）
 - ① 双葉郡を核とした研究機関や関連産業の集積
 - ② 実効性を確保するために必要な具体的な施策策定、予算措置、税制、規制緩和。
- 市町村長と知事との意見交換（7/22いわき・双葉郡）
 - ・ 構想の実現に大きな期待
 - ・ 双葉郡内で公平感のある拠点整備
 - ・ 福島再生加速化交付金の改善（施設運営費への支援等）



提案・要望の内容

● イノベーション・コースト構想の着実な推進

① 国際廃炉開発研究拠点 （放射性物質分析・研究施設）



② ロボット開発・実証拠点

- モックアップ施設
（屋内ロボット）
- 災害対応ロボットテストフィールド
（屋外ロボット）
- 災害対応ロボット技術開発への支援 など



③ 国際産学連携拠点

④ 新たな産業集積

- スマート・エコパーク
（災害廃棄物リサイクル・希少金属抽出）
- エネルギー関連産業
（IGCC、LNG、洋上風力、産総研の研究開発など）
- 農林水産業プロジェクト
（スマート農業など）



⑤ インフラ整備

- 交通インフラ
（常磐道、JR常磐線、ふくしま復興再生道路など）
- 産業・生活インフラ
（産業用地、中高一貫校など）



● 福島復興加速化交付金の改善